

No.
19

平成28年9月発行

新潟市南区 農業振興公社だより

編集・発行

公益社団法人 新潟市南区農業振興公社

〒950-1292 新潟市南区白根1235 TEL 372-5024 FAX 374-0780

HP:<http://niigata-agri.or.jp>

E-mail:kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp



公社定期総会開催

本年5月に公社総会が開催されました。今回は役員の改選の時期となり、結果理事14名中1名が交代、13名は留任、監事2名は留任となりました。また、平成27年度決算につきましては、公社だより最終ページに掲載いたしました。そして公社農地賃貸借料金の検討につきましては、平成30年に国の転作見直しが見直しが示されている中で転作率を考慮しての計算方法が見直しの時期となってきたため、北陸農政局から示された生産費、販売高等を基に生産者及び農地所有者、それに県、新潟市、南区役所、JA、公社のメンバー構成で現況に合った農地賃貸借料を協議する協議会を設立して総会に提案いたしました。本年度精算する公社基準額につきましては、圃場整備水田10a当たり28,900円となりました。さらに、公社会員数は事業利用による会員が大幅に増加したことにより、164名と増加いたしました。今後とも、各位にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

(写真は理事会風景)

農地の貸し借りに伴う利用権設定希望者への受付事務が再開されました。

平成29年産米対応で希望者は公社窓口にて随時受け付けております。

また、本年をもって稲作若しくは農業をリタイヤされて「経営転換協力金」を希望される方も申込を受付けております。

農地中間管理機構に貸し出すこと等を要件とした協力金の年度内支払に係る受け付期限は11月18日(金) 厳守となっております。以降3月申請までの受付案件については例年10月頃の支払となっておりますが、これに対する予算が確定しておりませんので、早めの申請をお待ちしております。

※詳細については公社窓口にて

更に「農地中間管理事業」参加地域が増えました。

春先から、各農家組合からの要請依頼に対応して、順次説明会を開催してまいりました結果、本年度につきましては大字単位で3地域がこの事業に参加されて、現在書類作成の段階となっております。この3地域に係わる集落数は8集落となっております。

南区における農地中間管理事業の「地域集積事業」対応地域が、平成27年度につきましても3地域が農地の交換集積に参加をされ、既に協力金が地域に支払われております。

今回各地域とも、地元の農業の将来に不安を感じており、先ずもって稲作の作業効率の改善に賛同されての事業参加となりました。今回集約することにより、現行の担い手がリタイヤされた時は、集約が容易に進むものと思われれます。

現在も数か所の地域においてこの事業の取り組みについて検討重ねておりますので、もし興味を持



たれた地域がありましたら是非、区役所、公社、JA窓口にご相談ください。県、市、区、農業委員会、公社、JAがチームを組んでサポートいたします。

【東笠巻新田の地域集積作業風景】

農作業パート事業の現況

農作業パート事業も、準備期間を経て事業開始3年目となりました。本年からは新潟市からの委託事業を離れて、公社独自の事業で展開をしております。仕事の内容も、当初は果樹作業に特化しておりましたが、今年からは農作業全般と作業内容を拡大して実施しています。よって農家からの仕事の



『県普及指導センターによるブドウ作業研修風景』

依頼件数も増えて、現在順調に推移しており、農家からの評価を頂いております。

平成28年度資源循環事業

本年度の堆肥散布該当農地が白根地区は「しろね稲作部会」の取りまとめにより確定いたしました。散布総面積が28ha、堆肥総重量は166tとなりました。また、味方地区の本年度予定数量は、面積100ha、数量は1,000tの計画となっております。

環境保全型農業を基本として、家畜の糞尿を有効に活用して、耕畜連携の循環型農業を目指して



おります。また、今後も「食の安全、安心」を提供しながら消費者との理解を深めてまいります。

農商工連携がっちりプロジェクト

農商工連携がっちりプロジェクトは、農商工それぞれの専門性を活かした6次産業化の調査・研究を行っています。6月に区内の農業者と商工業者を対象に、セミナーを実施しました。規格外農産物を食品原料として使いやすい状態に加工し、販売するなど、農産物を活かした新たな地域産業としての6次産業化を発信し、異業種交流を図りました。規格外農産物の有効利用、農産物・農産加工品のマーケティング力向上のための取り組みを実施いたしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

[試作品一覧]



(かきのもと粉末)



(乾燥大風しめじ)



(乾燥トマト)



(桃ペースト)



(小松菜粉末)



(乾燥小松菜)

果樹剪定枝バイオマス利用実験事業

果樹農家のみなさんのご協力をいただき、4月上旬に桃・梨の剪定枝をそれぞれ約4トンずつ回収いたしました。剪定枝はチップ化・乾燥工程の後、6月下旬に固形化し、桃は約70キログラム、梨は約1トンの固形燃料ができあがりました。

8月下旬には燃焼試験を実施し、データを取りまとめているところです。

これからも、処理に苦慮している剪定枝を有効資源として活用できる手段を検討してまいりますので、引き続き関係農家のご理解とご協力をお願い申し上げます。

南区農業振興公社平成27年度決算報告

●収入

単位:千円

会費	1,450	正、特別会員
事業費	88,060	農用地利用集積事業
負担金	6,512	関係機関、団体負担
雑収入	1	貯金利息等
前期繰越金	522	
合計	96,545	

●支出

単位:千円

事業費	93,262	農用地利用集積事業
管理費	1,290	水道光熱費、事務費
予備費	0	
合計	94,552	

次期繰越金 1,995

詳しくはホームページをご覧ください。